

平成 25 年度 湖南省立図書館第 1 回図書館協議会 会議記録(HP 公開用原稿案)

- 開催日時 平成 25 年 6 月 29 日(日)午前 10 時 5 分~正午
- 開催場所 湖南省立甲西図書館 2 階 集会室
- 出席者 図書館協議会委員 10 人 欠席者 なし  
教育長、図書館事務局 3 人
- 傍聴人 なし
- 議事
  - 1.図書館協議会の役割について
  - 2.平成 24 年度 市立図書館事業実績報告について
  - 3.平成 25 年度 市立図書館事業方針等について
  - 4.平成 25 年度実施予定事業について
  - 5.「第二次湖南省行政改革大綱」についての図書館の取組
  - 6.意見交換、協議
  - 7.その他

館長	ご案内の時間になりましたので、平成 25 年度湖南省立図書館の図書館協議会を開催させていただきます。開会に当たりまして、浅原教育長からごあいさつを申し上げます。
教育長	<p>おはようございます。少し梅雨の雨が続いていましたが、きょうは晴れやかないいお天気になりました。そうした中、本日第一回湖南省立図書館図書館協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。この度、新たに 7 名の委員のみなさまにご参画を頂き、3 人の委員のみなさまには引き続きお力添えをいただけるということで、また新たな体制で図書館協議会の運営について、ご尽力、お力添えをいただけたらと思っております。湖南省の図書館は、みなさまご存知のとおり市民の皆様の生涯学習、あるいは知の拠点として最も身近なものでございます。そういった中で、市民の皆様のニーズに応えるために、いろいろな運営の改善、運営のあり方について常に見直し、努力を重ねているところでございますけれども、そうしたなかで、ぜひ皆様方のそれぞれの立場からのご意見を頂きながら、より良いものにしていきたいと考えております。またこの図書館は、子どもたちの読書活動の推進の拠点という位置づけももっております。湖南省は、学校でも子どもたちの読書活動の推進のお願いをしております、市をあげて取り組んでいるところでございます。特に、子どもの読書活動につきましては、今年の 5 月に、国で第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画が公表されておりました、湖南省に起きましたは、平成 20 年に読書活動の推進計画を湖南省の計画として策定しておりますけれども、おおむね 5 年を経過しておりますので、新たにできた国の計画を踏まえて、湖南省の計画を見直していくという、節目の年になるかと思っております。またそのなかで、子どもの読書活動に向けても、皆様方のご意見をいただけたらと思っております。また、湖南省として全体的な行政改革の流れのなかで、公立図書館のあり方につきましてもさまざま指摘をいただいているところでございまして、そういった指摘をふまえて、市民の皆様のニーズに応える図書館でありながらも、行政改革という視点の指摘に対して応えていくこと、応えられることと応えられないことがあるか</p>

	<p>と思いますけれども、そういったことも含めて、事務局から率直なところを皆様方にご説明させていただきたいと思いますので、皆様方の知恵をいただくと大変ありがたいなと思っております。最後になりますけれども、これから2年間にわたりまして、皆様方の力を頂きながら、図書館協議会のご意見を伺いながら図書館の改善に努めていきたいと思っておりますので、重ねてお力添えを申し上げまして、開会に当たりましてのごあいさつにさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
--	--

[館長あいさつ]

[委員自己紹介]

[事務局職員あいさつ]

[職員紹介]

館長	<p>それでは次第に基づいて進めさせていただきます。今回は委員さんが新しくなり第1回目の図書館協議会となります。「図書館協議会について」という資料がありますが、湖南省立図書館の管理運営の関する規則第27条2項の規定により会長を選出していただく必要があります。互選ということですが、どのようにさせていただきますでしょうか。お声がありませんので事務局ですすめさせていただきますのでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
館長	<p>それでは、立候補されるかたはおられますか。おられないようなので、指名推選ということで推薦されるかたがおられればお願いします。</p>
委員	<p>吉村さんをお願いしたいと思います。私より長く委員をされていますので。</p>
館長	<p>吉村さんを推薦する声がありました、ほかにごいませんか。</p>
委員	<p>私も吉村さんを推薦します。図書館の利用者というだけでなく、図書館のあり方について勉強されています。</p>
館長	<p>ありがとうございます。ほかにおられませんか。では、吉村委員よろしいでしょうか。(吉村委員受諾) それでは吉村委員をお願いすることで異議はありませんか。(委員拍手) それでは吉村委員、よろしくお願いいたします。次に第27条3項により、職務代理者を会長から指名していただくことになっていますので、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>猪飼委員をお願いしたいと思います。</p>
館長	<p>会長から指名がありましたので、猪飼委員よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>よろしくお願いいたします。</p>
館長	<p>よろしくお願いいたします。</p>

事務局：[今回の協議会の配布資料確認]

■議事

館長	<p>それでは議事に入ります。湖南省立図書館の管理運営に関する規則第28条に会議は会長が招集し、議長となると規定しておりますので、会長よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>改めて、どうぞよろしくお願いいたします。事務局から図書館協議会に傍聴人制度があることを説明していただけますか。</p>
副館長	<p>図書館協議会の会議は一般のかたにも公開する方針です。傍聴人がおられる場合はこの部屋で聞いていただくこととなります。ただ、発言はしていただけません。本日はおられませ</p>

	んが、よろしく申し上げます。
会長	早速すすめさせていただきます。議事1の図書館協議会の役割について事務局からお願いします。
館長	〔議事1 図書館協議会の役割について説明する。〕市民の意見を図書館運営に反映するのが目的であり、年4回(2年で8回)行います。図書館を取り巻く状況は変化しており、みなさんの意見をいただきたいと思っています。昨年一昨年と取り組んできました行政改革についても図書館協議会のご意見を伺いながら取り組みを進めさせていただいてきたところです。今年度は「子ども読書推進計画」の見直しの年であり、担当は生涯学習課ですが図書館も関わって進めていく予定ですので、ご意見をいただきたいと思っています。また、法の改正などにより、図書館についても評価をいただくことになっています。図書館運営について課として評価を取り入れてはいますが、その評価だけでよいのか、どういった評価がよいのかということもご意見を伺いながら湖南市としての評価基準を作るなどできたらと考えています。図書館や読書に関することなど、さまざまな市民のかたの意見を反映させるという目的で図書館協議会の活動をしていただいておりますので、よろしく申し上げます。
会長	『湖南市立図書館20年のあゆみ』の12として図書館協議会という章があるので、目を通していただければいいかと思います。滋賀県下でも図書館協議会がない図書館もあります。旧甲西町は開館当初からありましたが、旧石部町にはなく、合併後は湖南市立図書館として図書館協議会をおき委員のかたにお越しいただいています。では、議事2について事務局からお願いします。
事務局	〔議事2 平成24年度 市立図書館事業実績報告(資料1、12)について説明する。〕
会長	昨年度の事業報告について質問などあれば発言してください。
委員	貸出冊数が減った原因は何ですか。
副館長	利用者層として50~60才代が多いです。図書館開館時に30才代だった人は継続して利用しているが、人口の入れ替わりも激しく、新規利用者が減少していると考えられます。図書館のPR不足と同時に図書費の減少も大きな要因と考えています。
館長	図書館費について少し説明をさせていただきますが、図書費の減少は当館だけではなく、全国的なことであり県下でも同様です。どの図書館も図書費の減少に比例して利用者が減少しているという訳ではありません。確かに全体的な傾向としては微減になっている館が多いのは事実ですが、それだけが因果関係であるということではないと思います。 開館当初から利用し続けている人が多く、次世代が取り込めていないのも事実だと思います。そんななかで、次の世代を育てていこうということで子ども読書に力を入れて事業を展開しています。インターネットの普及も一因でしょうし、「これが原因」と特定することは難しいと思っています。
事務局	インターネットの普及で簡単なことは自宅で調べるかたが増えていると考えられます。子どもたちの「調べ学習」も学校としてインターネットの活用も進められていると聞いています。
委員	子どもの読書は非常に大切だと思います。成人のなかで年齢別の利用者の分布がわかりますか。
副館長	20~30才代が少なく、50~70才代がとても多いです。特に70才代は20年前より多くなっ

	ています。
委員	そうなると、どこに力を入れるかということも見えてくるところがあると思うんですね。
副館長	若い人なんですよ。
委員	20～30 才代の方は働いているから、時間的に図書館の開館時間には来館できないと思います。私の家族はみんな大阪に通勤しているので、朝 6 時半に出勤して夜遅く帰ってくるので時間的に利用できないですね。
副館長	図書館は午後 6 時に閉館しています。開館時間を延ばす話もでていますが、土・日・祝日を閉館することで対応しています。いろいろなことを考えなければいけないと思います。
委員	午後 8 時まで開館していても、帰宅が夜の 10 時、11 時なので利用するのは無理ですね。
副館長	閉館時間を遅くすることは検討していて、午後 8 時まで試行開館したことがあるが、6 時までいた人がそのまま利用されていて、新規利用に結びつく結果にはなりません。費用対効果を考えて保留になっています。
委員	図書館の開館時間の問題ではなく、生活スタイルの問題だと思います。長く開館していても、20～30 代の方が図書館に来るのは難しいのではないのでしょうか。
副館長	魅力があれば来ると思います。その年齢層の人たちが必要とするものがあれば来館されるかもしれない。PR 不足かもしれません。
委員	私も退職するまでは滅多に図書館へは来ませんでした。興味のある分野の本を多数取り寄せてもらったりしていますが、甲西図書館は非常にレベルが高いと思います。活動も大変がんばってやっている。ただ、他の図書館と違うところを出せないかと思うんです。例えば県立図書館での電子図書を貸出したり、多賀町立図書館での本の販売をしているのが新聞記事になっていましたね。
事務局	多賀町立図書館は博物館との複合施設になっていて、図書館では販売できないので、販売は博物館がしているそうです。
館長	以前から博物館に本を置いて販売していたが、本が傷みやすい場所だったので、展示場所を図書館に移したと聞いています。新聞には図書館が本を販売しているというようなニュアンスで書かれてしまったということです。また、置いている本が一社のみなので、それについては問題かという話は県内の館長会でもでていました。
会長	地元の書店さんの問題もありますね。
館長	書店の案内も出しているとのことでした。
委員	先ほど、20～30 代の方が図書館に来られないという話がありました。私の小さい頃はテレビがなく、本を読むことで風景や風の流れ、色などを感じ取っていました。10 年毎に読み返している本もありますが、4 回読むと 4 回とも新しい気づきがあります。本を読むのは 0 才～80 才とスパンが長いんです。今、40 才の人に仕事やめて図書館に来てというわけにはいかないので定年まで待ってあげればどうでしょうか。テレビのように何も考えなくても映像と音が入ってくると創造性を失うのではと心配です。子どもたちの創造性、想像力を高めるために学校や図書館があると思います。
会長	では、議事 3 に移ります。事務局どうぞ。
館長	[議事 3 平成 25 年度 市立図書館事業方針等について(資料 2) について説明する。]

会長	質問や意見があれば発言してください。では、続いて議事4の説明をお願いします。
事務局	[議事4 平成25年度 実施予定事業について(資料6) について説明する。]
委員	ポイントラリーでハンコが集まったらどうなるのですか。
副館長	秋の読書週間に行う「図書館祭」でくじ引きをして、お土産を持って帰ってもらうことを考えています。
委員	以前から思っているんですが、もっと市民を取り込んでくださってもいいと思います。例えば図書館まつりでボランティア募集するとか。何かしたくても窓口がないと協力できない。ボトムアップするのに、もっと市民を利用してくれたらいいと思います。
委員	図書館が子どもに「してあげる」のではなく、子どもたちに企画を立てさせるなどで子どもたちを支援することもできますね。母親としては、子どもたちにチャンスを与えるのも大人の仕事ではないかと思います。
委員	この1～2年は子ども読書推進に特化して力を注いだらどうかと思います。図書館見学をされているが、例えば学校と連携して休館日に図書館を開放して感想文を書いてもらうなど読書のきっかけを作ることもあっていいのではないかと考えています。職員の負担が増えるので難しいかもしれませんが、子どもの読書推進を学校と連携して、ひとつふたつやっていけないかなと思うんです。
会長	学校側としてはどうでしょうか。
委員	中学校にいるときは、総合的な学習の場として図書館を活用していました。個々の学校ではすでに行われていると思っています。
館長	先日も図書館見学を受け入れたところです。学校のカリキュラムとしての図書館の位置づけが把握しきれませんが、図書館としては常にオープンに対応させていただいています。
委員	単なる見学だと遠足になってしまうので、もう一歩ステップアップして、1冊本を借りて感想文を書くといったようにカリキュラムに組み込むくらいで、小学4年生から中学生くらいまでをターゲットにしてやってみたらどうでしょう。
会長	同意見です。見学会というイベントで終わらせるのか、それを種として小学校高学年から中学生に図書館に来てもらうために図書館に来てもらうために図書館側から願う熱意が一番大事だと思います。見学したあとのことが非常に大事だと思います。
委員	他の図書館で「僕のお勧めの一冊」というのがボードに貼ってあったのですが、そういうのもいいのではと思います。
会長	事務局で検討してください。では議事5に入りたいと思います。
副館長	[議事5 「第二次湖南省行政改革大綱」についての図書館の取組み(資料7) について説明する。]
会長	ご意見やご質問があればお願いします。
委員	甲西図書館は一部借地だそうです。期限はいつですか。
副館長	あと5年です。
委員	では、5年で考える必要があるということがここに書いてあるのですか。
副館長	借地の問題も含めて、という形です。
委員	佐賀の図書館で図書館の一部のスペースを民間の店に貸すことで利用が増えたとテレビで

	見ましたが、そのようなことを検討したことはないのですか。
副館長	武雄市立図書館が、この4月に指定管理者制度を導入して、もとあった図書館を改装しスターボックスとツタヤ書店を図書館の中に入れてリニューアルして開館したところ非常に利用が増えていると報道されています。新聞にも書かれているように賛否両論あり、今後を見ていく必要があると思っています。
会長	ここでいう利用者は来館者なのか、本を借りた人なのかが見えてこない。
館長	利用者が市民なのか市外の人なのかどうかもわかりません。
委員	もとが、どういう図書館だったのかもわかりませんね。
副館長	そのうち報告があがってくると思います。資料・情報を市民に提供するという本来の図書館サービスをきちんとしたうえで付加価値としているのか、本来の業務が縮小されているのかを確認したいと思います。
委員	関連の新聞記事を資料として配布してもらっています。委員一人ひとりが読み取るべきなのかもしれませんが、図書館あるいは図書館司書として、記事に対してもう少し強いメッセージがほしいですね。そうすることで図書館の役割やあり方、今後どうあるべきかがおのずと見えてくると思います。
会長	行革大綱について、他にありませんか。
委員	新たなサービスのなかで「カフェ設置」というのがありますが、知人と、「図書館にカフェがあるともっと行きやすいね」と話をしたことがあります。カフェがあれば利用が増えるのではないのでしょうか。
委員	20年出会ってない人と図書館で会って、つい大声で話してしまい「静かにしてください」と注意されたことがあります。静かにしないといけないのはわかるし、近くに喫茶店もないので、カフェつきの図書館や本屋さんほうらやましいと思うこともあります「行政改革」には、いじめに近いようなものがあり、いやな感じを受けます。図書館に費用対効果ばかり求められるのはどうかと思います。
委員	そのためにも図書館は大きな顔をして、これだけの利用者数がある、これだけのことをしているということを見せることも必要ですね。そのために協力していかなければと思います。
委員	私はおはなし会をしていますが、部屋が物置のようになっているので、もう少し広い部屋があるといい。畳の部屋があってもいい。
委員	部屋を作るのは難しいけれど、物を動かせばいいのでは。
委員	おはなし会を子どもの本のコーナーでやっていただけたら、来た人みんなが楽しめるのでは。
委員	絵本を読むだけならいいのですが、ストーリーテリングもするので、落ち着いた部屋がいい。
委員	小さな声で語りかけることで、子どもたちの集中力を高めることもできるのではないのでしょうか。広報を全部読むわけではないので、たまたま図書館にいったらおはなし会を聞いたらちょっと嬉しいかなと思うのですが。
事務局	石部図書館では、児童コーナーでおはなし会をしています。決まった時間だけでなく、子どもがたくさんいるなと思ったら、職員の手が空いていれば随時絵本を読んだりもしています。甲西図書館でも当初児童コーナーで絵本や紙芝居を読んでいたことがありましたが、そのため

	に落ち着いて本が読めないというかたがおられるのも事実です。
委員	私は朗読ボランティアをしています。石部図書館のフロアで朗読会として発表の場をもっていました。聞き手が絞り込めないことや本を読んでいる人の邪魔になるのではという気兼ねもあって、今は中止しています。ただ、朗読の活動をすることで自分は本に目覚めたし、いろいろな方向からアタックすることで、いろいろな人が図書館に興味を持つのではないかなと思います。
会長	では、次回の会議日程などを事務局から。
副館長	10月頃に予定したいので、8月頃に連絡させていただきます。
会長	みなさんの生の声を聞くのが協議会のひとつの目的なので次回からもよろしくお願いします。
館長	本日は長時間にわたり議論し、ご意見をいただき、ありがとうございます。行政改革については、図書館は情報を出していく立場であり、主に取り組んでいるのが行政改革推進室となっています。本日、2年間にわたって取りまとめました内容を一部報告させていただきましたので、ご意見があれば事務局までお願いしたいと思います。本日は長時間ありがとうございました。